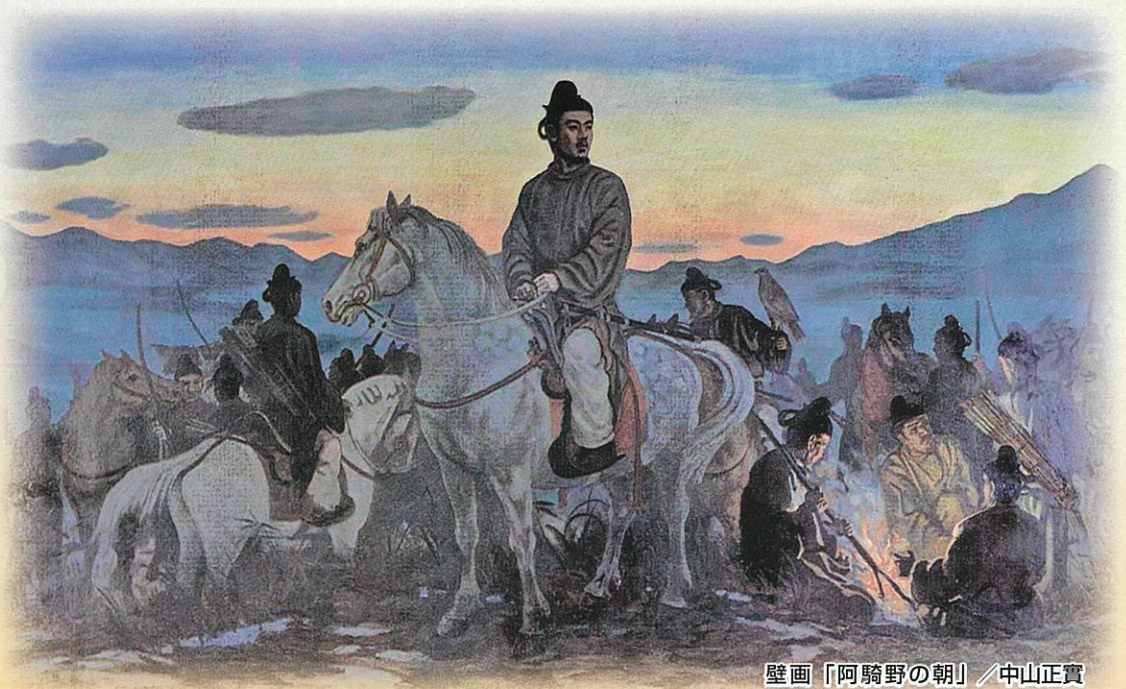




人麻呂公園



万葉歌碑



壁画「阿騎野の朝」／中山正實

万葉公園・人麻呂公園

「かぎろひを観る会」が行なわれる丘は、万葉植物の植栽や、東屋等、里山の自然を生かした整備が行われ「かぎろひの丘万葉公園」として人々の憩いの場所となっています。近くには発掘調査で飛鳥時代の離宮的な施設が見つかった中之庄遺跡があり「阿騎野人麻呂公園」として保存整備され、往時の面影を今に伝えています。



宇陀松山

宇陀松山（重要伝統的建造物群保存地区）

飛鳥時代から「阿騎野」と呼ばれ、宮廷の狩場だった地に、戦国時代「宇陀三将」と称された秋山氏が城を築き、その麓に栄えた城下町が宇陀松山地区の始まりとされています。以後、宇陀松山藩や天領時代など歴史のうねりの中で変遷を繰り返し、それぞれの時代の影響を受けながら、今日のまちなみを形成してきました。



阿紀神社

阿紀神社

垂仁天皇の御代皇女倭姫命が天照大神を祀った宇陀の吾城（阿騎）宮が起るとされ、神明作りの本殿があります。また能舞台があり、寛文年間から大正時代まで能楽興業が行われていました。平成4年より当時を偲び「薪能」を再開し、平成7年には「あきの螢能」と名を変え、螢が放たれる能楽として、見るものを魅了します。

当日特別営業のご案内



大宇陀温泉
あきののゆ

奈良県宇陀市大宇陀拾生250-2
TEL:0745-83-4126

オールナイト
営業



道の駅
「宇陀路大宇陀」
午前7時～

奈良県宇陀市大宇陀拾生714-1
TEL:0745-83-0051

かぎろひ



かぎろひ

万葉の歌人である柿本人麻呂は、軽皇子（後の文武天皇）の伴として当時宮廷の狩場であった当地「阿騎野」を訪れ、その雄大な夜明けの情景を、「ひむかしの野に かぎろひの立つ見えて かへりみすれば 月かたぶきぬ」と詠みました。このとき人麻呂は、今は亡き、草壁皇子（軽皇子の父）を偲びながら「かぎろひ」に軽皇子の時代の到来を、「月」に軽皇子の祖母にあたる持統天皇の時代の終焉をみていたのかもしれない。

第49回

かぎろひを観る会

かぎろひを観て 万葉を偲ぶ

令和2年

12月31日

午前5時~7時頃

かぎろひの丘 万葉公園
(奈良県宇陀市大字陀中庄)

日の出の1時間ほど前に現れる陽光「かぎろひ」。万葉の歌人 柿本人麻呂の秀歌「ひむがしの野にかぎろひの立つみえて かへりみすれば 月かたぶきぬ」が詠まれたとされる旧暦の11月17日に、古を偲び早朝「かぎろひ」の出現を参加者全員で待つイベントです。



交通

●電車・バス

近鉄大阪線榛原駅⇒奈良交通バス大字陀行(約20分)⇒大字陀高校前⇒徒歩(約5分)

※公共交通機関をご利用の際は、時刻等を各機関にお問い合わせ下さい。

※イベント開催時は早朝のため公共機関の運行はありません。



観光ボランティアガイドがガイドします。

阿紀神社・人麻呂公園・阿騎野の朝(壁画) 室生寺・水分神社・松山地区・松山城跡